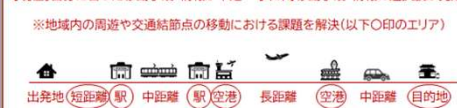
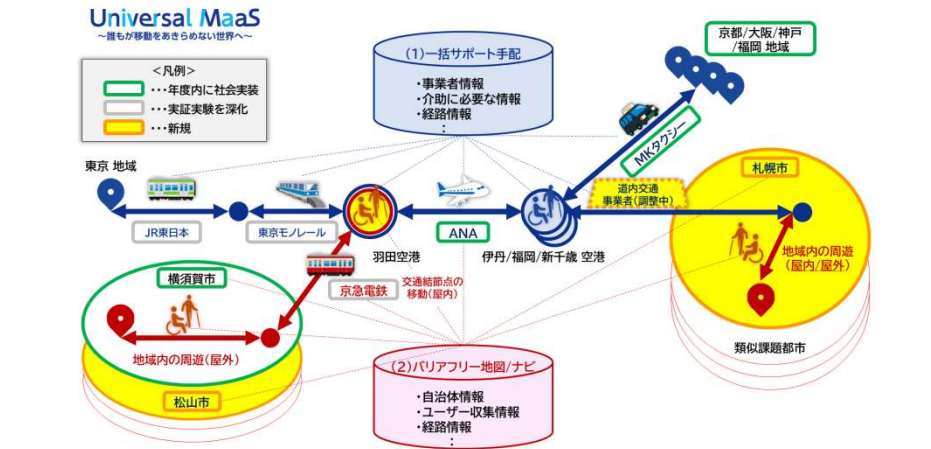


Universal MaaS～誰もが移動をあきらめない世界へ～

移動躊躇層(※)が抱えている課題を、Universal MaaSのコンセプトに従って利用者および自治体、地域、事業者の視点から解決し、行動変容を促すことにより新たな移動需要を喚起する。2021年度の実証実験結果を踏まえ、段階的に社会実装を進める。

※障がいや高齢など、何らかの理由により移動を躊躇している方々。2022年度は対象者・対象地域・参加自治体・企業を拡大

協議会の 構成員	【幹事】全日本空輸（ANA） 【横須賀エリア】横須賀市、京浜急行電鉄、横浜国立大学 【札幌エリア】札幌市、ANAあきんど 【機能/サービス】 （１）オンライン一括サポート手配：東日本旅客鉄道、東京モノレール、 エムケイ、道内交通（調整中） （２）リアルタイムバリアフリー地図/ナビ： ①屋外 下肢障がい：WheelLog、ゼンリン、ゼンリンデータコム ②屋外 視覚障がい：損保ジャパン、プライムアシスタンス、Ashirase、AWO ③屋内 下肢/視覚障がい：清水建設、SOMPOグループ、AWO その他、右記URLの数十者を予定 https://universal-maas.org/partner	
地域 課題	介助やサポートを必要としている利用者への対応が、自治体・地域・事業者ごと に大きく異なっており、また各交通事業者や施設管理者との連携方法が定まっ ていないため、移動躊躇層における自律的なdoor-to-door移動が不便（全国 的な課題ではあるが、まずは特定の利用者・自治体・地域・事業者に対象を絞 って課題解決を行ない、徐々に横展開していく）	
事業 概要	サービス 開始時期	実証実験を経て、2022年度以降の段階的なサービス開始を目 指す。
	地域 （拡大）	（１）都心⇔羽田⇔伊丹/福岡/新千歳⇔京阪神/福岡/札幌 （２）横須賀市/札幌市/松山市（横須賀市と連携）
	MaaS システム	既存経路検索サービスや観光案内サイトに以下をAPI連携 （１）一括サポート手配機能 （２）バリアフリー地図/ナビ機能
	交通 サービス	● 公共交通領域だけでなく、地域内の周遊や交通結節点の屋 内外の移動を含めたdoor to door地図/ナビの提供 ● 自分に合ったルートを選択・保存し、旅程管理や介助手配状 況の確認を可能とする情報・機能の提供 ● 介助を必要とする利用者が支援内容を事業者により依頼し、事 業者が回答するコミュニケーション機能の提供 ● バリアフリー/ユニバーサル関連の移動手段との連携
	交通以外 のサービス	● バリアフリー/ユニバーサル関連機能とのAPI連携 ● 各種移動支援サービスや機能との連携（以下参照） https://universal-maas.org/partner
事業 目的	利用者および自治体、地域、事業者の視点から、移動躊躇層における課題解 決を行い、行動変容を促すことにより新たな移動需要を喚起する。	

取組イメージ
MaaSを通じて提供するサービスのイメージ
(1)公共交通移動における一括サポート手配の実現 【現在】各事業者へ個別に都度、連絡・確認 【未来】各事業者に一括手配  (2)徒歩区間における自律的移動の実現 【現在】自分に合った移動手段・情報が不足 【未来】移動手段・情報の選択幅が充足 ※地域内の周遊や交通結節点の移動における課題を解決(以下○印のエリア)  Universal MaaS ～誰もが移動をあきらめない世界へ～ 
評価指標
● [指標]a:提供サービスに対する利用者満足度 b:提供サービスが外出のきっかけとなった人の割合 c:本事業をきっかけに公共交通を選択した割合 ● [目標]75%以上の利用者が10段階中上位4位以内の回答 ● [測定方法]利用実績ログ、アンケート、ヒアリング等を活用
今後の方向性
● 対象者や対象自治体/地域/事業者を拡大し、昨年度までに抽出した課題の解決ができた自治体/地域/事業者から、段階的に社会実装を目指す。 ● 一括サポート手配については、将来を見据え、一括予約や決済、マイナンバーカードとの連携を検討し、バリアフリー地図/ナビについては、最終ゴールであるユニバーサルな地図/ナビを目指すべく新規技術を引き続き追求する。